

子どもはぐくみ応援事業補助金 事業計画書 (記入例)

1 運営する法人又は団体

法人又は団体等の名称	〇〇法人 〇〇〇〇
代表者名	代表 〇〇〇〇
住所	天草市〇〇町〇〇〇番地
連絡先	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
PCメールアドレス	メールアドレスがあれば記入ください。

2 事業概要

名称	〇〇〇食堂
開催場所の所在地	天草市〇〇町〇〇〇番地
利用施設名	〇〇地区コミュニティセンター〇〇室
開設(予定)日	令和3年6月1日(既に開設している場合は当初開設日)
開催日又は開催頻度	第2、第4水曜日(月2回実施)
開催時間	16時~19時
参加予定人数(子ども食堂又はフードパントリーの場合は1回あたりの人数)	子ども: 10人、保護者: 5人
運営責任者	(氏名) 〇〇〇〇 (連絡先) 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇(昼間連絡の取れる番号を記入)
運営スタッフの人数	5人

### 3 事業の詳細

基本的な考え方	ひとり親家庭や仕事などで保護者の帰りが遅いため孤食になっている子ども達やひとり暮らしの高齢者などを対象に一緒に食卓を囲み、温かい食事をとることで、地域の子どもの達や住民との交流を図る。また、子ども達に対し、日常的な生活習慣や学習習慣を身につけさせる。
スタッフ	地域の婦人会や〇〇高校の学生ボランティアにより運営する。
広報	地区振興会や老人会、学校、保育園などと協力して、住民に周知を行う。
参加者負担金	大人300円、子ども100円 ひとり親世帯や生活困窮世帯は無料
安全管理	食物アレルギーへの対応のため、利用者一人ひとりの個票を備える。開設中は必ず1名が安全管理に専念するとともに、子どもの帰宅時の安全確保に努める。 万一の事故に備え、〇〇保険に加入する。
事業継続に関する考え方 (開設費の補助を申請する場合に記入)	SNSやチラシ等を発行し、地域の理解を得ることで、活動資金や食材の寄附を広く募り、まずは5年間は継続して活動・支援ができる体制を整える。
子ども食堂又はフードパントリーの場合は以下も記入すること。	
食材の確保方法	フードバンクや地域住民からの寄附により食材を賄う。ただし、不足する食材については、補助金を活用する。
食事の提供以外の支援	ボランティアによる子ども達への宿題の支援や地域住民との多世代交流を目的とした様々な遊び・体験活動を行う。